

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。皆さんもご存じ、元ジャニーズ「嵐の解散コンサートツアー」がスタートします。

札幌では3月13日(金)から15日(日)の3日間、札幌ドームで行われますが、日程が発表されると札幌市内や近郊の宿泊施設に



日本中から予約が殺到、予約困難な状況となりました。

UHBの取材によると札幌市西区にあるホテルは11日まではシングル7,800

円ですが13日からは52,000円になるなど価格が一挙に跳ね上がっています。また、北海道を訪れたいと考えている観光客にとっては

宿泊予約が難しくなり観光地に大きな影響が予想されます。

一方、ある問題が表面化しました。北海道大学の2次試験後期日程がコンサートの前日、12日に行われます。前期受験とは異なり後期受験は事前に受験校を決める事ができませんので直前の予約となります。そこで、札幌市の秋元市長は受験生用の宿泊枠を残すなどの対策をホテル業界に求めています。

ホテルの経営者にとっては「嵐ファン(高額)」、「観光客(リピーター)」、「受験生(社会貢献)」と限りある宿泊枠をどう割り当てるか頭の痛いところですね・・・。

選択

私は、社長業とは様々な「選択」肢の中から一つの決断をし続ける仕事と考えています。先ほど紹介した限られた「宿泊枠」を誰に販売するかを選択するのもひとつの例です。経営者として一時的に高額な料金を支払ってくれるお客様を優先するのも当然です。

未来を見据え、あえて一過性(バブル)のお客様を避け観光客(リピーター)を選択する事も正解でしょう。

未来を見据え、あえて一過性(バブル)のお客様を避け観光客(リピーター)を選択する事も正解でしょう。

今月は、経営者の「選択」について皆様と考えてみます。テキストは「倒産のリアル -



会社を潰す社長(山崎誠、エイチエス)」です。著者は再生コンサルタントとしてご活躍のようです。

粉飾決算

A社は地元では名の通った企業ですが業績は右肩さがりです。メインバンクは地元の信金ですが、ご存じの通り銀行(信金)は決算書で融資の判断をしますので、もし決算内容が芳しくなかった場合に経営者がどのような「選択」をするかはとても重要です。

A社から相談を受けた筆者は決算書の提示を受けました。眺めてみるとさほど悪くない



内容のようです。資金繰りが厳しいとの相談だったので詳細な財務内容を確認をするとA社長から「実は粉飾決算」であると告白されました。

社長曰く、「悪いこととは知りながら背に腹は代えられない。社員と自分の生活がかかっているので仕方がなかった」との事です。

間違った「選択」

筆者によると、粉飾決算から自力で脱出できた企業を見たことがないと言います。結局、本件は筆者のアドバイスにより融資元の信金に粉飾決算の報告をし、今後は「事業の見直し」や、粉飾を見逃す(?)ような「信頼できない顧問税理士を変更」すること、「リスク(返済計画の見直し)」で厳しい管理を徹底するという事で決着します。

実際、多くの会社でも長年事業を行っていると稀に決算が悪い年もあります。さて、A社長の手元には当時 2 つの選択肢がありました。

1 つは自分自身だけではなく、社員さんにも負担が大きい未来を見据えた選択肢です。それは、売上を伸ばす努力に加え経費削減(自身の報酬減も含む)の努力です。

2 つめは「悪いところを見なかった事にする」という安易な選択肢。つまり、決算書の数字の操作(粉飾決算)です。

このA社長は会社の未来を考えず安易な粉飾決算を「選択」したのです。今回は、銀行が助けてくれましたが、リスク(返済計画の

見直し)という前科がついた会社の信頼回復に多くの時間を要します。

会社を潰す社長

筆者は会社を潰す社長の特徴について以下を挙げています。

1. 経営オンチ

「的外れな対策を連発する」、「本業が儲からないからと一発逆転で奇抜な事業を目指す」など「選択」に疑問を感じる社長。

2. 人の話を聞かない

せっかくのアドバイス(注意)を聞いたふりをするがまったく行動に反映しない。つまり、改善の「選択」さえしない社長です。

3. 猫タイプ

猫の顔の前にネコジャラシを出すと素早くロックオンをし遊びます。猫なら愛らしい・可愛いと思うのですが社長がこのタイプだと問題です。例としては、太陽光発電が良いと聞けばセミナーに参加し、俺だけしか知らない情報だと考え「ロックオン」して行動します。つまり、思い込みに基づき短絡的な「選択」をする社長です。

社長それぞれに個性があるのは当然です。いや個性があるからトップが務まるとも言えます。しかし、自分の家族や社員さんのためにも、間違った「選択」は避けたいものです。正しい情報を収集し、正しい選択をしたいものですね・・。

決断しないことは、時として間違った行動よりたちが悪い。

ヘンリー・フォード（フォード・モーター創設者）

編集後記：

北海道猟友会の会長が「ヒグマ対策推進会議」に初めて出席し「国主導で警察や自衛隊、市長村が駆除を担う新たな体制作りを求め」ました。そもそも、従来からあるこの推進会議に猟友会幹部が出席したのが初めてなのが驚きです。ボランティアに依存し、当たり前前の準備が出来ていなかった国・地方自治体にはしっかり責任を持つという「選択」をお願いしたいものです・・（寿）。